

# NEXUS

2018  
No.679

7



## CONTENTS

- 01 ●Opinion  
「会長就任にあたって」  
岩手県中小企業団体中央会 会長 小山田 周右
- 02~12 ●主要記事
- 02~04 第63回岩手県中小企業団体中央会通常総会を開催
- 05 岩手県商店街振興組合連合会平成30年度通常総会を開催
- 06~09 「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」採択事業者が決定
- 10~11 外国人就労と技能実習制度の動向 他
- 12 「若者の県内定着に向けて」  
～県教育長が県内高等学校教職員へメッセージ～
- 13 ●会員情報 他
- 14~15 ●岩手県内中小企業概況(5月)
- 16 ●中央会Information／関係機関からのお知らせ  
第43回中小企業団体岩手県大会開催のご案内  
平成30年毎月勤労統計調査特別調査について  
来年10月1日から始まる消費税の軽減税率について

岩手県中小企業団体中央会

<http://www.ginga.or.jp/>



## 「会長就任にあたって」

岩手県中小企業団体中央会 会長 小山田 周右



先ずもって、先日の西日本豪雨によって被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心より祈念いたします。

去る6月21日に開催の第63回通常総会において、岩手県中小企業団体中央会の第8代会長に選任いただき、就任をいたしました。

谷村前会長におかれては、東日本大震災発災の直後である平成23年5月から7年の長きにわたり、その卓識と行動力により、中央会の発展と被災地の復旧・復興のため計り知れない貢献を賜りましたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

岩手県中央会は、県下400を超える組合とその傘下の組合員約2万5千の事業者を擁しており、その組織の代表という重責に、身の引き締まる思いでございます。平野、齊藤、藤村副会長をはじめ、役員各位のお力添えを賜りながら、会員組合のご期待にお応えできるよう全力を傾注しこの大任にあたってまいります。

東日本大震災から7年が経過し、この間、被災事業者においては、グループ補助金の活用等による事業再開が進み、かさ上げ工事の完了に伴い、地域の核となる商業施設等の建設が本格化するなど、明るいきざしも見えております。一方で、沿岸地区のみならず、人手不足、原材料価格の高騰、消費低迷、経営者の高齢化・後継者難等の多くの課題が山積しており、我々中小企業を取り巻く経営環境は、依然として大変厳しい状況にあります。

このような中、中小企業が持つ柔軟でスピーディな行動力という強みを、他社と連携することでさらにポテンシャルを高める共同事業の展開や、個々の事業者では解決困難な経営課題に対応し経営資源を補完・補強するなど、組合の果たす役割・機能の重要性は一層高まっております。

中央会としましては、これまで培ってきた連携組織の支援ノウハウを存分に発揮しながら、中小企業の経営の安定と強化に資するべく、具体的には、通常総会で承認を頂いた

1. 地域産業の復興・再生と持続可能な事業展開の推進
2. 生産性向上による経営力強化
3. 連携による新たな産業と事業の創出
4. 人材の確保と育成・定着

の4つの重点支援項目と計画に基づき事業を実施してまいります。

今後も、中央会は、総力を挙げて震災復興及び県内産業の振興に取り組んでまいりますので、会員各位並びに関係機関の皆様のなご一層のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。





## 第63回岩手県中小企業団体中央会通常総会を開催

去る6月21日、本会第63回通常総会を盛岡市のホテルメトロポリタン ニューウイングで開催した。

本会会員462人のうち267人（委任状を含む）の出席を得たほか、岩手県知事をはじめ関係各機関から来賓多数のご臨席をいただいた。

議事では、上程された全7議案が原案どおり、満場一致により可決決定された。

本会の平成29年度事業では、本県経済の復興のために重点支援項目を掲げ、強力に推し進めてきた。

特にも、去年は沿岸被災地において大型商業施設が相次ぎオープンするなど、新たな街づくりが本格化してきており、被災中小企業及びそのグループ等の販路開拓に関し、専門家指導等を実施したほか、中小企業等グループ補助金の認定申請及び認定後の事業構築等を支援するなど、多様な経営課題の解決を図った。

また、本会は中小企業経営力強化支援法に基づいた「経営革新等支援機関」に認定されており、設備投資や人材育成などによる生産性向上並びに新たな事業展開等への取組を支援することにより、中小企業等の経営力強化に向けた支援を行った

さらに、「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の地域事務局として県内中小製造業者の試作開発、設備投資等の支援を展開した。

その他、「いわて6次産業化支援センター」を設置し、6次産業化プランナーを活用した総合的な支援や、採用意欲のある県内中小企業と若者・シニア・女性等とのマッチングを行い中小企業の人材確保・育成を支援するなど、一層の経営力向上の実現に向けた支援を行った。

平成30年度の事業計画では、1.「地域産業の復興・再生と持続可能な事業展開の推進」、2.「生産性向上による経営力強化」、3.「連携による新たな産業と事業の創出」、4.「人材の確保と育成・定着」の4項目を重点支援することとした。

なお、任期満了に伴う役員選挙が行われ、会長1名、理事30名、監事4名が選出され、新たに会長として小山田周右氏が就任、また総会終了後の理事会において新たに藤村文昭氏が副会長に就任し、退任した。谷村久興会長は、顧問に委嘱された。

（役員名簿は別掲）。



通常総会開会の挨拶を行う谷村久興 会長



祝辞を述べる戸館弘幸 県商工労働観光部長（知事代理）



祝辞を述べる佐々木順一 県議会議長

## ■ 平成 30 年度 重点支援項目

### 1. 地域産業の復興・再生と持続可能な事業展開の推進

震災の沿岸被災地の復興が進み、仮設から本設への移行による事業再開が相次ぐなど、街づくりが形として顕れていることから、引き続きグループ補助金の認定申請への支援を行うほか、これらのグループによる復興事業計画の推進等への支援に加えて、被災中小企業等の商品戦略・販売戦略の再構築や販路開拓への支援を継続するとともに、平成 28 年台風第 10 号の被災事業者に対し、事業の再建に向けて支援する。

また、中小企業の持続的な事業展開を推進するためには、次世代へ円滑に事業を引き継ぐ必要があることから、事業承継対策について支援を行う。



祝辞を述べる山本雅之 商工組合中央金庫盛岡支店長

### 2. 生産性向上による経営力強化

中小企業や組合等連携組織が抱える経営課題の解決のため、経営革新等認定支援機関として、設備投資や人材育成などによる生産性向上並びに新たな事業展開等への取組を支援することにより、中小企業等の経営力強化を図る。

また、各経営革新等認定支援機関等と連携しながら、「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」により中小企業等の生産性向上に資する革新的取組や、企業間における情報共有を活用した新たな取組を促進するため、補助事業の適正な実施と補助事業終了後の更なる事業化を支援する「ものづくり支援センター」の設置運営を引き続き行う。



就任挨拶を述べる小山田周右 新会長

### 3. 連携による新たな産業と事業の創出

事業活動を活性化する上で、中小企業組合、中小企業グループ等の企業間連携は、新たな発想を生むとともに、経営資源の結集・補完により、地域資源等を活用した新商品・サービスの開発や高品質化、高付加価値化による新たな産業と事業の創出に有効である。

このため、地域内外における企業間連携を通じた新商品等の開発や新たなビジネスモデルの構築に向け、総合的に支援する。

### 4. 人材の確保と育成・定着

地域経済を担う中小企業の成長を図るためには、優れた人材の確保と育成・定着が不可欠であるが、依然として有効求人倍率が高止まり、大企業の採用意欲が拡大していることから、中小企業が必要とする人材の確保は困難な状況にある。

このため、若者・女性・シニアといった多様な人材や、企業の中核的な役割を果たす人材など、必要な人材と中小企業との適切なマッチング環境の構築から人材の確保・定着までを一貫して支援する。

**■ 新役員体制（会長1名 副会長3名 専務理事1名 理事26名 監事4名）（五十音順）**

役職名	氏名	所属組合名	再任・新任
会長	小山田 周右	盛岡工業団地協同組合	新任
副会長	齊藤 俊明	岩手県菓子工業組合	再任
副会長	平野 喜嗣	岩手県電気工事業工業組合	〃
副会長	藤村 文昭	協同組合盛岡卸センター	新任
専務理事	菅原 和弘	岩手県中小企業団体中央会	再任
理事	岩清水 晃	南部鉄器協同組合	〃
理事	大野 尚彦	盛岡地区タクシー業協同組合	〃
理事	海鋒 守	物流ネットワークオール岩手協同組合	〃
理事	工藤 清博	盛岡青果商業協同組合	〃
理事	熊谷 英典	盛岡市建設業協同組合	新任
理事	斎藤 誠	岩手県印刷工業組合	再任
理事	佐々木 慶子	宮古市末広町商店街振興組合	〃
理事	佐々木 英樹	岩手県管工事業協同組合連合会	〃
理事	澤里 富雄	久慈自動車整備協業組合	〃
理事	澤田 克司	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合	〃
理事	澤田 亮	岩手県中小企業青年中央会	新任
理事	菅原 廣耕	岩手県ビル管理事業協同組合	再任
理事	高橋 純一	岩手県火災共済協同組合	〃
理事	高橋 政志	岩手県乾麺工業協同組合	〃
理事	高橋 祥元	協同組合江釣子ショッピングセンター	〃
理事	千葉 泰	岩手県自動車整備商工組合	〃
理事	豊岡 卓司	岩手県商店街振興組合連合会	〃
理事	日當 和孝	岩手県木材産業協同組合	新任
理事	松岡 俊太郎	岩手県酒造協同組合	〃
理事	松本 静毅	日専連岩手県連合会	再任
理事	宮澤 啓祐	岩手県石油商業組合	〃
理事	舞石 太	岩手県採石工業組合	〃
理事	八重樫 義一郎	岩手県液化ガス商工組合	新任
理事	安江 由喜雄	岩手流通輸送センター協同組合	再任
理事	吉田 莞爾	盛岡大通商店街協同組合	〃
理事	渡辺 征彦	岩手県板金工業組合	〃
監事	昆 裕子	企業組合夢咲き茶屋	再任
監事	佐久間 修一	岩手県塗装工業組合	〃
監事	佐々木 武男	岩手県米穀販売商業組合	〃
監事	千葉 善太郎	岩手県パン工業組合	新任





## 岩手県商店街振興組合連合会 平成30年度通常総会を開催

6月26日(火)、ホテルルイズ(盛岡市)にて岩手県商店街振興組合連合会の平成30年度通常総会が開催された。

議事では、平成29年度の事業報告及び決算、今年度の事業計画並びに収支予算等、上程された全7議案が原案どおり、満場一致により可決決定された。

任期満了に伴う役員改選では、豊岡卓司氏(盛岡市肴町商店街振興組合 理事長)が会長に再任されたほか、古内一二氏(さかり中央通り商店街振興組合 理事長)が新たに理事に選任された。

総会終了後、講習会及び出席者による情報交換会を開催。講習会では、岩手県働き方改革推進支援センター 副統括コーディネーター 永山智照氏より、働き方改革が進められている背景や必要性を踏まえ、非正規雇用労働者の処遇改善や賃金引上げ等、事業者に求められている対応や、取り組むうえで活用できる支援制度、相談窓口等のサポート体制について紹介。また、岩手県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 星野剛氏からは、同拠点の支援メニューの紹介のほか、人手不足等の課題を抱えた事業者が生産性を向上させ、稼ぐ力を高めていくためのポイント等について支援事例を交えて説明された。

続いて、東北経済産業局 産業部 商業・流通サービス産業課 鎌田将彰氏からは、地域商業活性化支援施策の概略や、平成29年度補正予算及び平成30年度予算の商店街支援事業の内容や事業を活用して地域コミュニティ施設の整備や外国人観光客の受け入れ環境の整備、空き店舗活用のための調査研究事業等に取り組んでいる各地の事例について紹介。あわせて、今後の商店街支援施策の方向性について説明された。

その後の情報交換会では、県内商店街の役職員等より、それぞれの活動状況について報告され、商店街の現状、抱えている悩みや課題、解決のための取り組み等について共有。個別店舗の売上につながる商店街イベントの効果的な実施方法や、組合未加入者への対応策等について意見が交わされた。



通常総会の様子

### < 岩手県商店街振興組合連合会の新役員体制 >

役職	氏名	所属	所属先役職	備考
会長	豊岡 卓司	盛岡市肴町商店街振興組合	理事長	再任
副会長	宮沼 孝輔	盛岡市材木町商店街振興組合	理事長	再任
副会長	佐藤 良介	花巻市大町商店街振興組合	理事長	再任
副会長	吉田 建彦	北上市本通り商店街振興組合	理事長	再任
専務理事	菅原 和弘	岩手県中小企業団体中央会	専務理事	再任
理事	石田 和徳	盛岡駅前商店街振興組合	理事長	再任
理事	佐々木 慶子	宮古市末広町商店街振興組合	理事長	再任
理事	古内 一二	さかり中央通り商店街振興組合	理事長	新任
監事	郡司 善孝	北上市本通り一丁目商店街振興組合	理事長	再任
監事	佐藤 健一郎	花巻市上町商店街振興組合	理事長	再任

(順不同・敬称略)



講習会の様子



情報交換会の様子



## 「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」 採択事業者が決定しました！

本会では、「平成 29 年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」の岩手県地域事務局として、平成 30 年 2 月 28 日（水）～4 月 27 日（金）」まで公募の受付を行いました。全国で 17,112 件（17,275 事業者）の応募申請のあった案件について、地域採択審査委員会及び全国採択審査委員会における審査を経て、岩手県地域事務局では以下の通り 74 件（76 事業者）を採択することとしました。

### 【ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金 採択先一覧】

No	事業者名	事業計画名	補助事業の実施場所
1	(株)ナテック	パーツフォーマーによるステレンス高精度加工の実現による事業拡大	奥州市
2	(株)雪ッ子食品	循環型農業を基盤とした高品質カット野菜の量産化への取り組み	遠野市
3	廣田酒造店	科学的分析体制の確立による酒造りの高付加価値化及び品質向上	紫波町
4	(株)ぼこたん	機械化による収益力・販路拡充と県産木炭加工品の発展を目指す	久慈市
5	森田製作(有)	独自の新たな加工体制の構築による加工領域の拡大及び生産性向上	紫波町
6	杜陵高速印刷(株)	ポストプレス工程の改善により、生産力拡大と短納期を図る事業	盛岡市
7	東北資材工業(株)	独自製法にて開発した難燃性発泡スチロール建材の量産装置導入	花巻市
8	(株)トーノ精密	精密長尺・肉薄・大径プラスチック射出成形技術の革新	遠野市
9	(株)いさみや洋装	需要が高まるスポーツ医療・介護向け製品の高効率な生産体制構築	奥州市
10	(株)松田製作所	0.5mmの薄板を用いた業務用プリンター用軽量部品の試作開発	花巻市
11	ミドリ久慈衣料(株)	生産プロセス見直しによる不良撲滅と効率的な生産体制の構築事業	久慈市
12	岩手ニッカン(株)	高品位銅張積層板の品質安定化と生産効率化による量産体制の確立	紫波町
13	小岩金網(株)	強度が高く網目幅 2.5mm と細かく安全性の高い溶接金網製造の自動化	奥州市
14	(株)エーデルワイン	選果作業の生産性向上と作業環境改善を両立した製品品質の向上	花巻市
15	(株)北日本環境保全	環境分析項目の自動化による人手不足対策及び迅速化・コスト削減	北上市

No	事業者名	事業計画名	補助事業の実施場所
16	(株)小林精機	A I 型 7 軸制御ロボット導入による多品種少量生産の革新	滝沢市
17	(株)トップクルー	新型ドローンを導入し、ドローンによる農薬散布講習を開設	宮古市
18	南建設(株)	I C T 完全自社施工による競争力の強化と生産性向上の実現	軽米町
19	(株)岩渕建設	次代に向けた重機で、作業も進化！！目標は“次代と共に安全・生産性・品質の向上”	一関市
20	テーオー食品(株)	充填包装機導入による生産性の向上と工場稼働率の改善	九戸村
21	(株)宮古マランツ	プレスフィット加工装置導入による短納期化及び新規受注拡大	宮古市
22	岩手製鉄(株)	ロボットシステムインテグレーション事業進出に向けた自動化技術習得事業	北上市
23	(株)浅沼醤油店	ボトルネック工程の強化と品質向上で海外市場などの引合い獲得	盛岡市
24	(有)吉田研磨工業	段取工程の効率化と測定器導入による新たな事業分野への進出	盛岡市
25	(有)総建美装	女性社員の育成・活用及び操作性の高い先端設備導入による生産性の向上	奥州市
26	(有)越戸きのこ園	脱水装置導入による廃菌床の燃料化	久慈市
27	(株)薄衣電解工業	亜鉛めっき高機能化・効率化のための高精度搬送機構の導入	北上市
28	(株)長島製作所	インダストリー 4. 0 に対応する、革新的汎用モデルラインの自社開発	奥州市
29	(株)ユーテム・プレジジョン	生産プロセス革新で、高難易度加工領域の強みを一層伸長・発展させ、顧客要求の高精度難削材金属加工を実現	奥州市
30	(株)石神製作所	新製品のユニバーサルデザインに対応できる三次元切削技術の確立	花巻市
31	(株)テクノアート	ファインバブルの特許を活用した畜産農業の生産性向上装置の増産	一関市
32	(株)アーアル研究所	フリンジスキャン式干渉計と解析ソフトによる超精密研磨ガラス表面の精度測定	一関市
33	(株)ケイ・エムアクト	航空関連部品における革新的な加工プロセスの確立	一関市
34	(株)オノデラサイン	日本最大の「バッチ式熱転写機」導入による製品品質・生産プロセス向上	二戸市
35	(株)ミスズ工業	小型高精度医療部品の量産製造技術確立で医療分野の事業拡大	北上市



No	事業者名	事業計画名	補助事業の実施場所
36	(株)アイオー精密	CNC高精度複合加工機導入による生産体制の高効率化	花巻市
37	ハコショウ食品工業(株)	製造ラインの改善によるローコスト生産体制の構築	花巻市
38	(株)戸田久	高圧殺菌技術革新による生麺賞味期限の延長と首都圏への販路拡大事業	盛岡市
39	ラピラス電機(株)	アロマディフューザー製作の開発効率の向上と生産コストの削減	八幡平市
40	(有)夢工房	3D製品に対応した設備導入による工程の改善とデザイン力の向上	北上市
41	(株)セキエイ	顧客の要望に応えると同時に工場の生産性を上げるための溶接機導入計画	一関市
42	東里工業(株)	鉄道車両の溶接加工受注のため及び溶接工程の増強のための設備投資事業計画	一関市
43	三共化成(株)	難めっき性樹脂の3D-MID化	陸前高田市
44	(有)エスジーディー	スペアパーツ部品の加工技術確立による生産性向上と新規受注拡大	花巻市
45	(株)東亜エレクトロニクス	ロボット活用によるアルミ鋳造品加工の高能率化、高品質化で生産力20倍	一戸町
46	(有)中孫商店	革新的な水道漏水調査プロセスの確立による大幅な工期の短工期化	雫石町
47	フィールドプランニング(株)	新型3Dスキャナー導入による大型案件受注獲得と新規業界への参入	盛岡市
48	(株)南部美人	国内外の需要増加に応えるための酒質安定化と増産体制の構築	二戸市
49	(株)トルクスト	花巻市民に最も愛されるクラフトビールの開発・拡販を通じた収益改善と地域貢献	花巻市
50	樋口煎餅店	無添加・無加糖の南部せんべいの開発による販路開拓	八幡平市
51	(株)名東技研	ドライCIP法を用いた短納期セラミックス部品量産製法の確立	金ヶ崎町
52	(株)北上製作所	新型溶接機の導入で溶接工程を改善し顧客からの要望に応えかつ、生産性を上げる事業	北上市
53	(株)アイカムス・ラボ	医療機器事業拡大に向けた医療機器製造体制の構築と拡充	盛岡市
54	大森クローム工業(株)	工業用クロムめっき被膜の応力改質によるノークラック化の実現と事業化	北上市
55	(有)丸與木材店	大径木縦割り機導入によるチップ製造過程の簡略化	久慈市

No	事業者名	事業計画名	補助事業の実施場所
56	久慈プレカット(協)、 (有)マルヒ製材	CADデータ連携による入力作業の省力化と付加価値向上	久慈市
57	赤武酒造(株)	日本酒の科学的分析体制構築及び5S強化による更なる高付加価値化	盛岡市
58	松森木工所	培った技と最新技術の融合と進化で、クリエイティブ木工所を目指す	滝沢市
59	(株)サクシーディング	高精度精密機械金属切削加工の対応による生産能力の強化	一関市
60	(株)デジアイズ	塗装工程への自動化ロボット導入による生産性向上の取り組み	奥州市
61	(有)山本自動車	自動車整備工場への再新鋭機器導入による省力化・高収益化の実現	一関市
62	白石食品工業(株)	石窯オープン導入による高品質食事系パンの新ブランド『C r a f t B r e a d』の立ち上げ	盛岡市
63	久慈モーター工業(株)	顧客満足度をさらに高めるための業務効率化刷新事業	久慈市
64	(有)平泉観光写真社	いつまでも色あせない思い出を残す、高品質アルバム事業の展開	平泉町
65	(株)砂田屋	手作業から機械化することによる生産性とオリジナリティーの向上	花巻市
66	(有)日産ボデーサービス	車体整備品質及び生産性の向上と福祉関連向け整備サービスの創出	盛岡市
67	(株)栄組	高性能舗設機械の導入による舗装施工の生産性向上と長期保証サービスの提供	遠野市
68	(株)ラング	P E A K I T技術の海外展開に向けた3D点群解析の高速化	盛岡市
69	(株)兼平製麺所	野菜加工処理方法改良による商品力の強化	盛岡市
70	(有)戸塚商店	デジタルピッキングシステムによるピッキング作業の効率化	盛岡市
71	日本フィニッシュ(株)	eラーニングシステムを活用した模擬試験及び即時採点サービスの提供	奥州市
72	(株)白ゆり	15歳の春。夢、叶えます！受験生のための白ゆりテスト編集体制の強化	盛岡市
73	レストランエルミタージュ	特選岩手食材を使ったオリジナル低塩生ハムの開発、商品化事業	奥州市
74	(株)いわて金型技研 (株)北上プレス技研	CADデータ共有による自動車用プレス金型設計製作の効率化	北上市

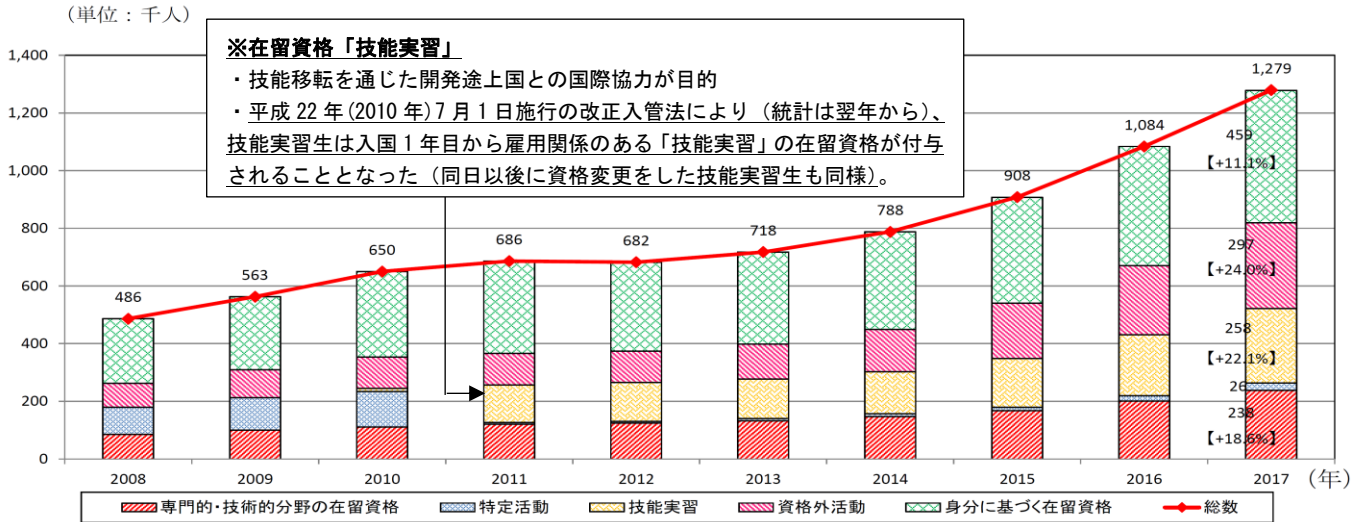


## 外国人就労と技能実習制度の動向

### ◇在留資格別の外国人労働者数の推移

日本で就労している外国人は、平成29年10月末時点で過去最高の127万8,670人。

在留資格別では「専門的・技術的分野の在留資格」23.8万人、「特定活動」2.6万人、「技能実習」25.8万人、「資格外活動」29.7万人、「身分に基づく在留資格」45.9万人。「特定活動」(40.8%)、「資格外活動」(24%)、「技能実習」(22.1%)の伸び率大きい。



出典：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況(平成29年10月末現在)」

注1：【】は、前年同期比を示している。

注2：「専門的・技術的分野の在留資格」とは、就労目的で在留が認められるものであり、経営者、技術者、研究者、外国料理の調理師等が該当する。

注3：「身分に基づく在留資格」とは、我が国において有する身分又は地位に基づくものであり、永住者、日系人等が該当する。

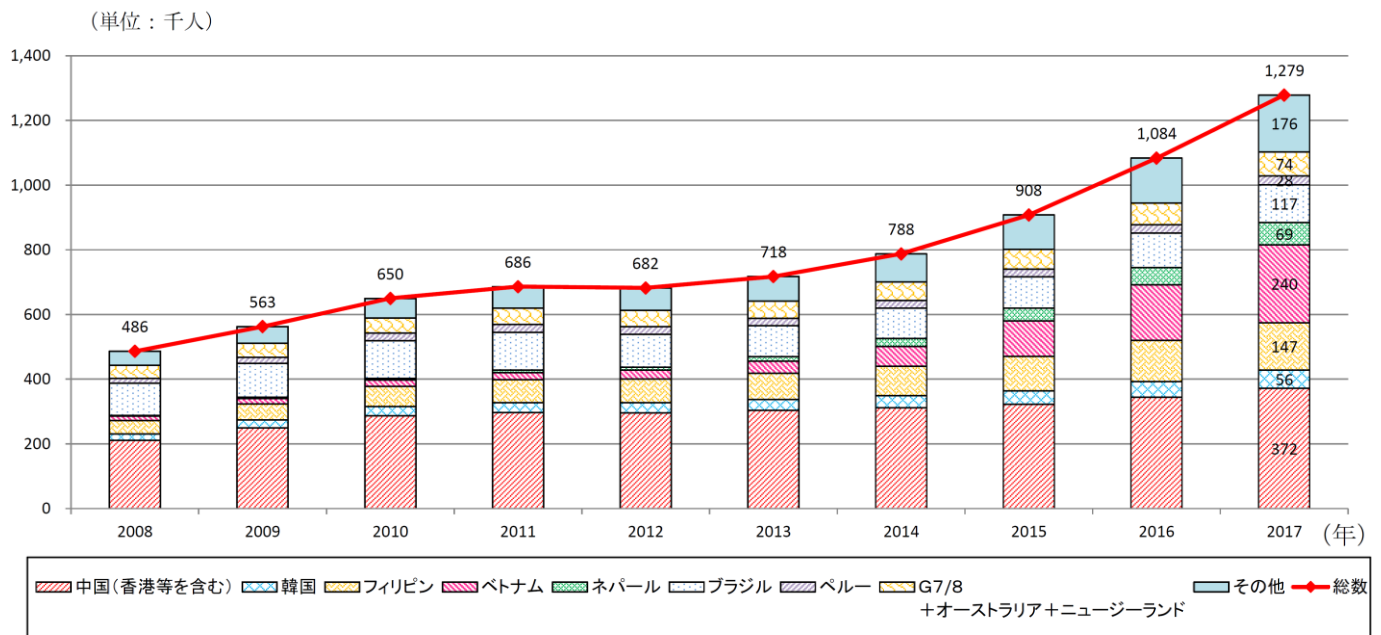
注4：「特定活動」とは、法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動を行うもの。

注5：「資格外活動」とは、本来の在留目的である活動以外に就労活動を行うもの(原則、週28時間以内)であり、留学生のアルバイト等が該当する。

### ◇国籍別の外国人労働者数の推移

国籍別では、中国人が最も多く、372,263人で、外国人労働者全体の29.1%を占めている。次いで、ベトナムが240,259人(18.8%)、フィリピンが146,798人(同11.5%)、ブラジルが117,299人(同9.2%)の順となっている。

直近では、特にベトナムが対前年同期比で68,241人(39.7%)と大幅に増加。そのうち「技能実習」が43.9%、次いで「資格外活動(留学生等)」が42.1%と多い。外国人労働者に占める割合としては、ベトナムに次いでネパールが対前年同期比16,341人(31%)で大幅増。そのうち「資格外活動(留学生等)」が81%となっている。



出典：厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況(平成29年10月末現在)」

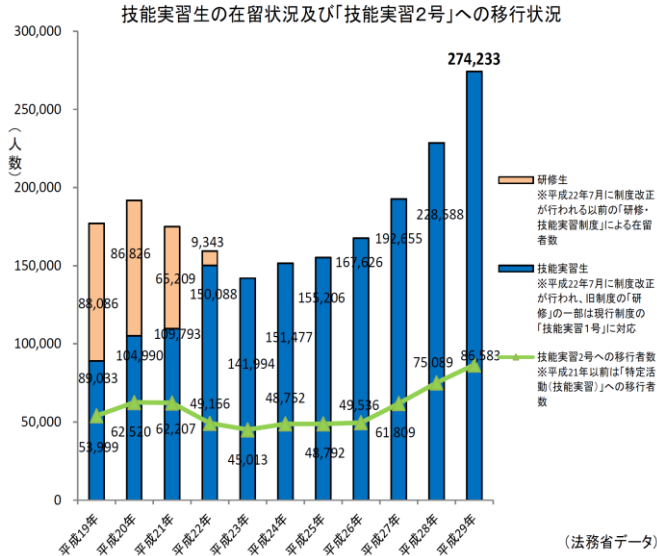
### ◇外国人雇用事業所数の推移

外国人を雇用する事業所数は、平成25年時点では126,729か所。年々増加し、平成29年10月末時点で過去最高の194,595か所。特に、平成26年以降は毎年約2万事業所ペースで増加。

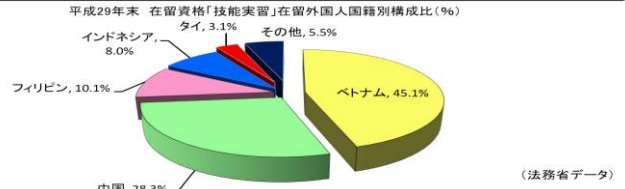


## ◇技能実習制度の現状

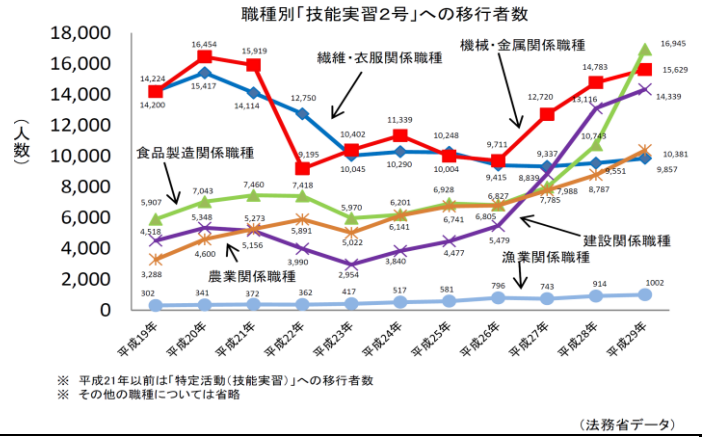
1 平成29年末の技能実習生の数は、274,233人  
 ※技能実習2号への移行者数は、86,583人



2 受入人数の多い国は、①ベトナム ②中国 ③フィリピン



3 全体で77職種あり、受入人数の多い職種は、  
 ①食品製造関係 ②機械・金属関係 ③建設関係



## ◇新たな技能実習制度における申請等件数

1 監理団体許可 (平成30年6月19日現在)	
申請件数	許可件数
2,327件 (うち介護職種356件)	2,144件 (うち介護職種291件)
	うち一般監理事業(※1) 816件
	うち特定監理事業(※2) 1,328件

2 技能実習計画認定 (平成30年6月8日現在)		
区分	申請件数	認定件数
企業単独型(※3)	5,923件 (うち介護6件)	5,032件 (うち介護0件)
団体監理型(※4)	194,306件 (うち介護245件)	148,800件 (うち介護11件)
計	200,229件 (うち介護251件)	153,832件 (うち介護11件)

- ※1 技能実習1号、2号及び3号の監理が可能となる事業区分。  
 許可の有効期限は5年又は7年(初回並びに原則5年。前回許可期間内に改善命令や業務停止命令を受けていない場合には7年)
- ※2 技能実習1号及び2号の監理が可能となる事業区分。  
 許可の有効期限は3年又は5年(初回並びに原則3年。前回許可期間内に改善命令や業務停止命令を受けていない場合には5年)
- ※3 日本の企業等が海外の現地法人、合併企業や取引先企業の職員を受け入れて技能実習を実施する類型。
- ※4 非営利の監理団体(事業協同組合、商工会等)が技能実習生を受け入れ、傘下の企業等で技能実習を実施する類型)

## 2018年骨太の方針「新たな外国人材の受入れ制度」について

平成30年6月15日、「経済財政運営と改革の基本方針2018」(骨太の方針)において、新たな外国人材の受入れ制度について決定。骨太の方針の概要は次のとおり。

〈一定の専門性・技能を有する外国人材を受け入れる新たな在留資格の創設〉

- ①受け入れ業種の考え方  
 ○生産性向上や国内人材の確保のための取組を行ってもなお、外国人材の受入れが必要と認められる業種において受入れ
  - ②政府基本方針及び業種別受入れ方針  
 ○受入れに関する業種横断的な方針を政府基本方針として閣議決定し、当該方針を踏まえ、業種別の受入れ方針を決定
  - ③外国人材に求める技能水準及び日本語能力水準  
 ○技能水準は、受入れ業種で適切に働くために必要な水準を業所管省庁が定める試験等によって確認  
 ○日本語能力水準は、日本語能力試験等により、ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力を有することが確認されることを基本としつつ、業種ごとに必要な水準を定める  
 ○技能実習3年を修了した者は、必要な技能水準及び日本語能力水準を満たしているものとし、試験等を免除
- (平成30年6月法務省入国管理局資料より抜粋)

2025年までに50万人超の受入れを目指そうとしており、受入に関する業種横断的な方針を年度内に政府基本方針として決定し、当該方針を踏まえ業種別受入方針を該当分野の所管行政庁が決定していく予定。その他、在留期間の上限を通算5年とし、家族の帯同は基本的に認めないなどを検討中。

## 6月27日(水)外国人労働セミナーを開催

6月27日(水)、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて「第1回外国人労働セミナー」を開催。会員組合役職員等約50名が出席。

前半は、厚生労働省の外国人介護福祉士支援係長・介護技能実習支援係長(併任) 田代善行氏より、外国人労働者全体の最近の動向と技能実習制度の現状をテーマにご講演いただいた。後半は(公財)国際研修協力機構(JITCO)国際部副部長林有造氏より、送出国・送出機関・技能実習希望者の動向とJITCOによる外国人技能実習関係者支援内容についてご講演いただいた。

# 『若者の県内定着に向けて』 ～岩手県教育長が県内高等学校教職員へメッセージ～

7月1日より来春卒業予定の高校生の求人情報が解禁されました。人口減少が急速に進み人手不足が一層強まる中、昨年度の本県高卒者対象求人数は過去10年で最高となり、平成31年3月卒の求人数についても、昨年度を上回る水準で推移しております。このような中、岩手県教育長が本県県立学校長を通じて各教職員へ「若者の県内定着に向けて」メッセージを送りましたのでご紹介します。（一部抜粋）

近年、少子・高齢化の進行や若者人口の社会減に伴う生産年齢人口の減少等により、全国的に人手不足が恒常化しており、労働力の確保や若者の県内定着が大きな問題となっております。本県もその例外ではなく、如何に人口減少をくい止め労働力を確保しふるさと振興を図っていくかという課題に産業界、教育関係者、関係機関が課題認識を共有し、オール岩手の体制で、連携しながら取り組んでいくことが必要だとの認識の下、いわてで働こう推進協議会を設置し県内就業の促進に向けた取組を展開しております。

一方で、同推進協議会が平成29年1月に行った「岩手県の若年者雇用動向調査」によると、本県出身者の地元志向は強いものの、高校生の県内企業に対する理解が十分でないこと、高校生の就職先決定にあたっては学校関係者の与える影響が大きいことなどが明らかになりました。不景気の影響で県内の就職状況が厳しい時期に生徒を採用していただいた企業も少なくなく、それが縁で今でも採用を続けていただいております。そのような状況を考慮しながらも、本県における労働者不足を解決し将来にわたり本県の発展を持続可能なものとするには、関係者に課せられた喫緊の課題と考えます。

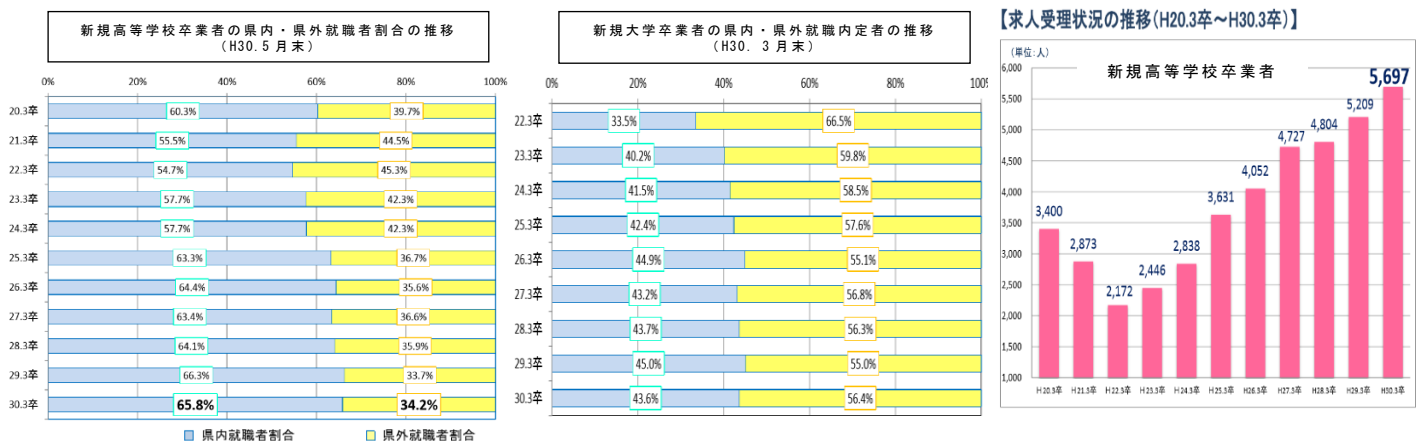
つきましては、以上の状況について、教職員の皆様の御理解をいただいた上で、次に挙げる事項について、生徒、保護者の皆様に御理解いただくための取組を図っていただくよう是非ともお願いいたします。併せて、「いわての復興教育」や地域の歴史、伝統文化に関する学習などを通して、生徒が本県にルーツを持つことに誇りを持ち、将来にわたって本県との繋がりを持つような意識の醸成に努めていただくようお願いいたします。

- 1 就職を検討する際は、まずは、本県への就職を検討していただきたいこと。県外の企業への就職を考えている場合でも、本県の状況を理解した上で検討していただきたいこと。
- 2 県外に進学する場合でも、就職を検討する際は、まずは、本県への就職を検討していただきたいこと。県外に就職を希望する場合でも、本県の発展に貢献する意識を持っていただきたいこと。
- 3 本県にも魅力ある企業が多数あり、労働環境や処遇改善にも努めていることを御理解いただき、県内企業や本県で暮らすことへの関心を高めていただきたいこと。
- 4 本県では、大型企業の誘致に伴う企業集積が進んでおり、首都圏に出なくても本県で就職できる時代の流れになっていることを御理解いただきたいこと。
- 5 本県の人口減少に歯止めをかけ、県全体でふるさと岩手を守っていかねばならないことを御理解いただきたいこと。
- 6 若者は県民にとって宝であり、若い力が岩手の力になることを御理解いただきたいこと。

平成30年6月22日

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行

○（参考）岩手労働局発表資料より





## 会 員 情 報

### (企) 夢咲き茶屋

#### 「道の駅遠野風の丘」と共に歩み開業 20 年

6月30日(土)、遠野市の道の駅遠野風の丘は開業 20 周年を迎えた。平成 10 年の道の駅開業当時から出店している企業組合夢咲き茶屋(昆裕子理事長)は、変わらぬおふくろの味を提供し続けてきた。

遠野市綾織地域で生産された米を主原料としたおもてなしの郷土食のかねなりだんごを中心ににおにぎり、おでん、そばなどを 1 個単位で提供しており、気軽にお客さんに食べてもらえるように、常にお客さん目線での営業を続けてきた。

「先輩方の知恵、技を受け継ぎ、次の世代に引き継ぐ。時代は目まぐるしく変化しつつも、食の文化は変えず、いつ立ち寄ってもなつかしい味がある店づくりをこれからも心がけたい」と昆理事長は語る。

延べ 1920 万人が訪れた道の駅遠野風の丘は、地域振興と防災拠点のさらなる発展を願い、20 周年感謝祭を開催する。会期は、第 1 弾として 6 月 30 日～9 月 17 日までの土日全 10 回。復興道路延伸と IC 開設により、市内外からの来訪客により新たな賑わいが期待される。



「夢咲き茶屋」の外観



看板メニューのかねなりだんごときりせんしょ

## 全国商店街振興組合連合会 創立 50 周年記念表彰受章者紹介

6 月 21 日 (木)、全国商店街振興組合連合会創立 50 周年式典が東京ベイ有明ワシントンホテルにて開催された。永年の功績を称え、岩手県商店街振興組合連合会関係者ら 4 名が創立 50 周年記念表彰として受章された。各表彰および受章者 4 名は以下の通り。

### 全国商店街振興組合連合会創立 50 周年記念表彰 (順不同)

#### ○経済産業大臣表彰 (商店街功労者)



宮沼 孝輔 氏

岩手県商店街振興組合連合会 副会長  
(盛岡市材木町商店街振興組合 理事長)

#### ○全国商店街振興組合連合会理事長表彰

豊岡 卓司 氏

盛岡市肴町商店街振興組合 理事長  
(岩手県商店街振興組合連合会 会長)



佐藤 良介 氏

花巻市大町商店街振興組合 理事長  
(岩手県商店街振興組合連合会 副会長)



石田 和徳 氏

盛岡駅前商店街振興組合 理事長  
(岩手県商店街振興組合連合会 副会長)







## 1. 全国の景況

(全国中小企業団体中央会平成30年6月20日発表)

5月は、原材料価格や人件費が高騰するなど、経営コストの上昇圧力が強い環境下において、急激な原油価格上昇が経営を直撃したこと等により、中小企業の景況感は総じて悪化している。広範な業種において労働力確保が困難な状況が続いており、中小企業にとって最重要課題の一つとなっている。消費者の支出抑制が強まってきた傾向が多数報告されており、中小企業の先行きは引き続き注視していく必要がある。

## 2. 景況天気図（県内）…平成30年5月と平成30年4月のDI比較

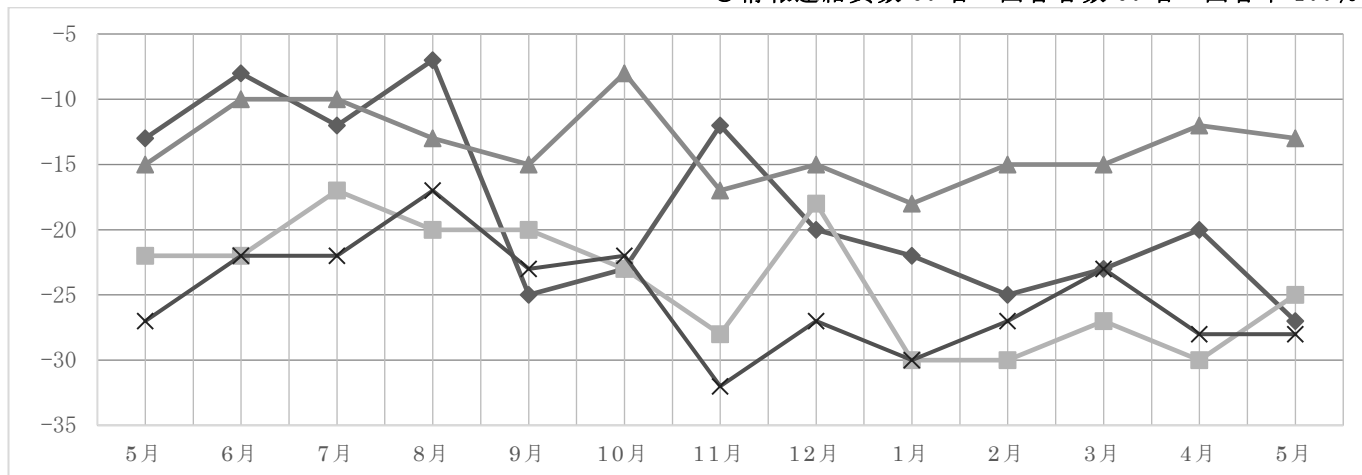
天気図の見方…各景況項目について「増加」「好転」業種割合から「減少」「悪化」業種割合を引いた値をもとに作成。その基準はただし、在庫数量はプラスの場合は雨、マイナスの場合は晴れの方向を表す。

平成30年 5月分	全産業			製造業			非製造業			天気図
	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比	
売上高	△27	△20	7P↘	△10	△24	14P↗	△36	△18	18P↘	30以上
在庫数量	△12	△14	2P↗	△10	△10	0P→	△14	△19	5P↗	10~29
販売価格	3	△2	5P↗	0	△10	10P↗	5	3	2P↗	△9~9
取引条件	△8	△7	1P↘	△5	△5	0P→	△10	△8	2P↘	△10~△29
収益状況	△25	△30	5P↗	0	△33	33P↗	△38	△28	10P↘	△30~△49
資金繰り	△13	△12	1P↘	△14	△14	0P→	△13	△10	3P↘	△50以下
設備操業度	5	△14	19P↗	5	△14	19P↗	—	—	—	△50以下
雇用人員	△20	△12	8P↘	△14	△5	9P↘	△23	△15	8P↘	△50以下
業界の景況	△28	△28	0P→	△14	△24	10P↗	△36	△31	5P↘	△50以下

DI (Diffusion Index) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いた指数のこと。

## 3. 全産業（県内）…平成29年5月～平成30年5月DI推移（売上高・収益・資金繰り・景況）

○情報連絡員数 60名・回答者数 60名・回答率 100%



平成30年5月DI 《 ◆…売上 -27 ■…収益 -25 ▲…資金繰り -13 ×…景況 -28 》

## 4. 各業種の概況（県内）…平成30年5月分

### ◇酒類製造業

全国新酒鑑評会で多くの銘柄が金賞を受賞した。岩手県の実力は揺るぎないものであり、技術向上の面においても躍進してきた結果と言える。

### ◇パン製造業

パン給食から米飯給食への振り替えに伴う作業量減少の対応策として、雇用の削減が目立つ。

### ◇めん類製造業

連休期間中から中旬まで気温の寒暖差が大きくめん類の消費は減少、後半でカバーできず。

### ◇一般製材業

新規住宅着工戸数が、盛岡・釜石地区を中心に急増し、今後の県内木材需要に期待している。一方、首都圏での木材需要等の伸びは期待薄である。

### ◇木材チップ製造業

長期のゴールデンウィーク、後半の雨、田植え等により広葉樹の出材が少なかった。

### ◇銑鉄鋳物製造業

国内ではインバウンドへの売上額が多少増加したが、欧米へのティーポット、台湾・中国への南部鉄瓶等の輸出額が大幅に減少した。

### ◇金属製品製造業

引続き鋼材価格の値上がりが続く中、鋼種によっては入手までの時間がかかる鋼材も出てきている。

### ◇一般機器製造業

原材料及び工具等の価格上昇、ガソリン高騰等経費負担が増加、受注単価の交渉を打診している。

### ◇各種商品卸売業

全体的に従業員確保の面で苦戦している。また、施設の狭隘・老朽化問題もでてきている。

### ◇野菜果実卸売業

野菜類は前半に数量が多く出回り単価安、中下旬は出荷が減少で単価が上昇した。果物は、GW前後と下旬の運動会時期に品物の動きが活発となった。

### ◇酒・調味料小売業

先月からのビールの値上げでは多少の仮需があったが、今月はその反動で前年割れ。ビール系飲料が低迷する中、低アルコール飲料が好調で推移した。

### ◇家庭用機械器具小売業

ゴールデンウィーク、農繁期と続き、小売業では売上減となる月であり、非常に厳しい月となった。

### ◇燃料小売業

L Pガス販売の厳しい競争環境で当分の間は現状の価格で推移、高値基調が続けば小売価格も連動していく可能性が否定できない状況となっている。

### ◇野菜・果実小売業

小売り分野では、産直形態が好調なものの、店頭での動き、納入業者とも動きが停滞している。

### ◇各種商品小売業①

衣料等買回り品が苦戦している。

### ◇各種商品小売業②

客数の減少より、売上の減少割合が大きい。複数購入の工夫をして売上を増やしていきたい。

### ◇食肉小売業

豚枝肉相場は、急激に高騰していたが、店頭での価格に転嫁できず、様子見の状態であり、収益の減少となっている。

### ◇商店街（一関市）

5月は一服感が強いが、一段と消費が鈍い。

### ◇商店街（盛岡市①）

ゴールデンウィークのイベントは雨で参加者・来街客が少なく、月末のイベントは天候に恵まれたが観覧客は少なく、中心商店街の集客力低下を感じざるを得ない。駐車場の売上は減少傾向に歯止めがかからない状況である。

### ◇商店街（盛岡市②）

イベントで商店街が賑わい観光客が多かったが、イベントの来街者数と店舗の売上増加がリンクしていないのが実情である。

### ◇建物サービス業

人手不足が深刻、求人において時給を上げても応募者がいない状況である。

### ◇旅行業

取扱件数や取引条件等には大きな差はないが、学生団体等の人数の減少が原因で前年割れ。

### ◇自動車整備業

車検需要の落ち込みが続き、売上高・収益とも厳しい状況。県内新車販売もマイナスが続く。

### ◇土木工事業①

民間大型物件が動き出す予定、短納期のため様々な困難が予想される。製品の特性上、時間制限があるため他の工場から運べないのが残念である。

### ◇土木工事業②

熟練技術者・従業員などの人材確保、官公・民間需要の停滞、人件費の増加等が経営上の問題。

### ◇一般乗用旅客自動車運送業

原油高の影響で車両燃料も徐々に値上がりを見せ、厳しい状況は続く。

### ◇一般貨物自動車運送業

燃料高騰、荷動きが悪い。



## 第43回中小企業団体岩手県大会開催のご案内

下記日程にて、第43回中小企業団体岩手県大会の開催致します。

■ 開催日 平成30年9月20日(木) ■ 開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング  
詳細については、後日改めてお知らせ致します。○担当：統括管理部 TEL：019-624-1363

## 平成30年毎月勤労統計調査特別調査について(厚労省)

厚生労働省では、本年7月31日現在で、常用労働者を1~4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、1~4人の常用労働者を雇用する小規模事業所における賃金、労働時間及び雇用の実態について全国及び都道府県別に明らかにすることを目的に実施しており、調査結果は、小規模事業所の実態を示す資料として最低賃金の改定審議等に使用されています。

調査対象となる事業所には、8月から9月にかけて統計調査員が訪問し、調査事項についてお伺いして調査票を作成いたします。

調査票に書かれた内容は「統計法」により厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることも固く禁じられています。

ご多忙のことは存じますが、調査の重要性をご理解いただき、調査にご回答いただきますようお願いいたします。

詳しくは、厚労省ホームページをご覧ください。http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/31-1.html

## 来年10月1日から始まる消費税の軽減税率について(国税庁)

事業者の皆さん

来年10月1日から始まる消費税の軽減税率

# 準備していただきたいことがあります。

標準税率 10% と、飲食物品等に係る軽減税率 8% について  
(酒類・外食を除く) (低所得者対策として実施)

▶ 帳簿・請求書・レシート等の記載を税率ごとに区分することが必要となります。

▶ レジや受発注システムの導入・改修が必要になることがあります。



### 消費税軽減税率制度説明会

を全国で開催しています。ぜひご参加下さい。

■ 開催日時、場所については 軽減税率説明会 検索



■ レジの導入等を支援する補助金について知りたい方は

軽減税率対策補助金 検索

■ 軽減税率制度について知りたい方は

軽減税率 国税庁 検索

## 岩手県中小企業団体中央会 主要日誌 平成30年6月分

■ 岩手県中央会主な実施事業等		6月11日	南いわて食産業クラスター形成ネットワーク・食のビジネス交流会
6月1日	人手不足対応ガイドライン活用・実践セミナー①	6月13日	岩手県ILC推進協議会役員会
6月19日	人手不足対応ガイドライン活用・実践セミナー②	6月13日	岩手県商工会議所連合会通常総会
6月21日	岩手県中小企業団体中央会第63回通常総会	6月14日	三陸防災復興P2019実行委員会第1回企画運営専門部会
	岩手県商工振興(協)通常総会		東北・北海道中小企業団体連絡協議会事務局代表・会長会議
6月25日	岩手県中小企業青年中央会H30年度第1回理事会	6月18日	岩手県空港利用促進協議会総会
6月26日	岩手県商店街振興組合連合会通常総会	6月19日	中小企業振興基本計画外部委員会
			岩手県立大学開学20周年記念式典
	■ 関係機関・団体主催行事への出席等		
6月4日	岩手県ILC推進協議会監査・幹事会	6月20日	いきいき岩手支援財団評議員会
	岩手県生活衛生営業指導センター理事会		岩手県事業承継ネットワーク第1回連絡会議
6月6日	いわて産業振興センター理事会	6月22日	全国中小企業青年中央会通常総会
	ラグビーW杯2019釜石開催実行委員会広報・イベント専門部会	6月27日	貸付審査委員会(岩手県信用保証協会)
6月7日	最低賃金審議会現地調査		岩手県共同募金会評議員会
6月8日	中央最低賃金審議会委員との意見交換	6月28日	岩手県若年技能者人材育成支援等事業連携会議
6月11日	岩手地方最低賃金審議会第1回本審		都道府県中央会事務局代表者会議
	H30年度第1回いわてで働こう推進協議会	6月29日	全国中小企業団体中央会総会